

川直正委員長（国土交通省大臣官房技術審議官）はじめ委員11名の出席のもと、理事会に諮る議案を審議いただくため、第241回企画委員会を開催しました。

委員会では下記の議案が審議され、全て了承されて、理事会に諮ることとなりました。

- 議案1. 会員の入会について
- 議案2. 令和2年度事業計画（案）について
- 議案3. 令和2年度予算（案）について

—主な意見

- ・令和2年度事業計画に記載されている全ての会員に向けた保険制度とは、どのような内容か。
- 令和2年度に導入を検討している保険制度は、国家賠償法に基づいて求償された場合に、1件につき最大50万円の補償が受けられるもので、このほか、医療や法律など電話による無料相談を受けられるサービスを考えている。

**理事会を開催 令和2年度事業計画  
および予算などを承認**  
—第248回理事会—

令和2年2月10日（月）、協会会議室において大石久和会長、寺本邦一副会長（代表理事、元国土交

通省大臣官房技術調査官）はじめ理事15名と染矢康弘監事（元国土交通省港湾局建設課港湾事業監理官）、青木秀幸監事（東京都下水道局建設部長）、さらに企画委員会から東川直正委員長（国土交通省大臣官房技術審議官）、長尾純二副委員長（国土交通省大臣官房技術調査官）の出席のもと、令和2年度の事業計画などを審議いただくため、第248回理事会を開催しました。

理事会では下記の議案が審議され、全て了承されました。

- 議案1. 会員の入会について
- 議案2. 令和2年度事業計画（案）について
- 議案3. 令和2年度予算（案）について

令和2年度事業計画では、建設技術講習会や月刊「建設」の更なる充実に努めるとともに、会員の加入促進など組織の充実を図った地方協会の表彰、全会員を対象とした保険の導入、技術者連携交流分科会の検討結果を踏まえた連携交流の推進など新たな取り組みを進めていきます。

令和2年度予算では、会費収入を前年度と同額を計上しており、全建会員約6万人の維持を目標としています。

## Dr.クマの“健康のヒント”

### パンデミックかインフォデミックか



新型コロナウイルスの感染症が広がっている。もともとコロナウイルスは風邪の原因ウイルスのひとつであるが、動物のみに感染能力を持っていたウイルスの遺伝子に変異し、人間への感染能力を獲得したものが問題となる。多くの死者を出したSARS、MERSの記憶は新しい。現在のCOVID-19ウイルスも野生動物由来と考えられている。もともと遺伝子に変異しやすい生物であるウイルスが動物種をまたがって感染するのは当然であるし、グローバル化した世界に感染が広まるのも宿命である。現時点では致死率は低く、これまでの新型肺炎ほど恐くないように思われるが、治療薬がない状態では各自が予防に努めるほかはない。単にマスクをするだけでは予防できないことは医療従事者の常識である。コロ

ナウイルスは飛沫感染であり、様々な場所に付着した飛沫が粘膜に到達することで伝播していく。ということはどうすればよいか。とにかく手洗いである。医療従事者は「一行為、一手洗い」をモットーとしている。殺ウイルス効果のある石けんや消毒薬の使用もよい。手洗いの方法は厚生労働省のホームページで見ることができる。もう一つ大事なのが偽情報にまどわされないこと。現在はパンデミックの状態はなく、情報による恐怖の状態であるインフォデミックと言われている。国立感染症研究所や、厚生労働省のサイトなどを参考にするのがよいだろう。

手洗いのサイト：<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf>

（北里大学医学部 教授 熊谷 雄治）